

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	てとでのキッズ (保育所等訪問支援)		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日	～	2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 27名	(回答者数)	19名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 3日	～	2025年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 2名	(回答者数)	2名
○訪問先施設評価実施期間	2025年 2月 10日	～	2025年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数) 25名	(回答者数)	24名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの臨床経験が豊富な作業療法士を配置している。	ニーズ増に伴い、なるべく希望される日にちに調整ができるようスケジュール管理を行っている。	訪問支援員の配置と育成の検討
2	活動の場でのお悩みや困りごとに対して直接的なサポートができることが保育所等訪問支援(事業所)の強みであり、直接支援と間接支援でのサービスを提供している。	園や学校のニーズに合わせた訪問支援を行っている。集団の妨げや先生方の負担にならない程度での実施に努めており、利用頻度も双方の意向を確認して決定している。	保護者のニーズや園や学校での困り感に応じてすぐ動けるように相談支援員と共有を行いながら、適切な支援ができるよう調整を行う。
3	児童発達支援・放課後等デイサービスと保育所等訪問支援を併用することで、子どもを中心とした連携や共有、必要とされる支援がより強化される。	実際の療育の様子や療育で使用している道具等を共有することで、お子様の必要とされる支援についての相互理解が深まるように心がけている。	訪問支援員が持参する道具等の購入など随時必要物品の補充検討を行う。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ニーズに沿わないサービス提供時間の短さ (14:00～17:30)	理学療法士等の増員が不可欠	人員が整ったのちにはサービス提供時間の延長も視野にいれた事業所運営を行っていきたい。
2	ニーズ増に対応できない、開所日の少なさ (月曜日の午後のみ)	理学療法士等の増員が不可欠	人員が整ったのちには開所日を増やすことも視野にいれた事業所運営を行っていきたい。
3	訪問支援員の少なさ (現在1名で訪問支援支援を行っている)	理学療法士等の増員が不可欠	理学療法士等の増員をすすめるとともに、職員の育成にも力を入れていきたい。